TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

真実の鐘　心が新たにされる
ガラテヤの信徒への手紙 6:11-18

2023 年 9 月 23 日&24 日
ジェシー・セザリオ牧師

ご挨拶
礼拝に参加されている皆さん、こんにちは。TBC-West 東京、TBC 三郷、福岡インターナショナル教会、スヴァおよびトンガバプテスト教会の皆さんにもご挨拶申し上げます。
主の恵みと救い主イエス・キリストが、みなさんの霊と共にありますように。
祈りましょう。
ガラテヤの信徒への手紙 6:11-18
「11 御覧のとおり、私はこんなに大きな字で、自分の手であなたがたに書いています。12 肉において見栄を張りたい人たちがあなたがたに割礼を強いています。彼らはただ、キリストの十字架のために迫害を受けたくないだけなのです。13 実際、割礼のある者自身、律法を守っていないのに、あなたがたに割礼を望んでいるのは、あなたがたの肉を誇りたいからです。14 しかし、この私には、私たちの主イエス・キリストの十字架のほかに、誇るものが決してあってはなりません。この方を通して、世界は私に対し、また私も世界に対して十字架につけられたのです。15 割礼の有無は問題ではなく、大事なのは、新しく造られることです。16 この基準に従って進む人々の上に、また、神のイスラエルの上に、平和と憐れみがありますように。17 終わりに、誰も私を煩わさないでほしい。私は、この身に、イエスの焼き印を帯びているのです。18 きょうだいたち、私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊と共にありますように、アーメン。」
今日は「真実の鐘」シリーズの最後のメッセージです。
目で見えることは、信仰ではない
パウロは、聴衆の注意を引く典型的なテクニックを用いてこの手紙を終わらせています。当時の律法学者や教師たちには、彼らが話すのを聞き取って、手紙に書き起こす書記がいました。要は人間タイプライターです。
しかしこの手紙の最後になって、パウロはガラテヤの信徒に向けて、わざわざ自らの手で、結びの言葉を書き入れました。皆さんも手紙やメールでこのテクニックを見たことがあるかもしれません。一部を強調するために、違うフォントを使ったりするのです。
では、パウロが何を言おうとしているのか、見ていきましょう。
「御覧の通り」という初めの言葉は重要です。「見る」ためには何が大事だとパウロは言わんとしているのでしょう。パウロは彼らの目に問題があると分かっています。
彼らは愚かにも「見る」ことにこだわっていたので、パウロは言いました。彼らは信仰によって歩いていません。その目で、外見や表面を見、互いの肉をチェックしている。割礼を受けているか、いないか。彼らは信仰のしるしを探している。多くの人がこの間違いを犯します。
信仰は肉の業にはよりません。他の人の目に見える行いで信仰を証明することはできません。行いによって信仰を見せることはできます。でも行いによってあなたの信仰を証明することはできません。
イエス様に何かを加えたら、それは真の信仰ではありません。私たちは行いによって義とされるのではありません。
イエス様に何か加えようとすると、私たちは自分と他者とを比べ始めます。これは間違った態度です。
実例
私がメンバーシップクラス 101 を教え始めたとき、テキストに態度について述べている部分があることに気が付きました。
「クリスチャンになるとはどういうことか」という部分で、テキストには「誰もが幸せになりたい！でも、本当の幸せは、自分の人生の目的を理解することからくる」と書かれています。そして質問が続きます。
質問Ⅰ　私はなぜここに存在しているのでしょうか。
1. 神様が私を**愛する**ために、私を造られたから。
2. 私たちは、神様との個人的な関係を**楽しむ**ために造られたから。

質問Ⅱ　何が問題なのでしょうか。神様と私の関係はどこで狂ってしまったのでしょうか。
人間は、神様の人生の教訓を無視して、自分がボスでいたいという欲求を生まれ持っています。
聖書はこのような態度（物事に対する心の持ち方）を「罪」と呼んでいます！
これについて、私はいつも考えさせられます。「罪」が態度の問題だとは思わなかったからです。皆さんはどうでしょうか。
「罪」とは私たちがする行い、神の掟を破る何らかの行いです。だからまだ救われておらず、霊によって生まれ変わっていない人の態度を、罪の「態度」と呼ぶのが正しいのか考えました。
でも考えてみてください。あなたの態度は、あなたの行動の仕方に現れます。
クリスチャンでいることは、心の戦いです。霊と肉が戦っている時、それが真実であることを実感するでしょう。クリスチャンは日々、自らの罪の態度と戦っているのです。
聖書は何と言っているでしょうか。
「あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにして自分を造り変えていただき、何が神の御心であるのか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるのかをわきまえるようになりなさい。」（ローマ 12:2）
態度とは、私たちが何かするにあたって、私たちがどの様に行動するかに影響する考えや感情の土台と言えます。
ですから、ローマの信徒への手紙 12:2 は、私たちに、この世の態度とは違った新たな態度を身に着けるように言っています。この世の態度は問題のある態度です。
クリスチャンの皆さん。正直になりましょう。私たちは、この疫病ようにつきまとい、私たちの生活をかき回し間違いを犯させる、「問題のある態度」を変えようと常に奮闘しています。
でも福音によって、私たちの態度が新たにされなければ、神様が私たちにどのように行動して欲しいかを知ることはできません。
パウロの主張は一貫しています。
「この自由を得させるために、キリストは私たちを解放してくださいました。ですから、しっかりと立って、二度と奴隷の軛につながれてはなりません。」（ガラテヤの信徒への手紙 5:1）
私たちの行動の仕方が新たにされるための初めの一歩が「自由」なのはなぜでしょう。
「自由」は究極のリセットボタンだからです。このボタンは、あなたが過去にしたことをリセットして、再び立て直し始めることができる強力な心のボタンです。
「自由」は初めの一歩です。私たちの心はとらわれたままでいるように、決まりを守るように、予めプログラムされているからです。ルールに従わなかったら裁かれるのは普通のことだと受け入れます。
でも決して幸せにはなれません。ロボットのようには行動できないからです。
SF 映画にはよくこのコンセプトが見られます。たいてい自己破壊さえも含めて、命令に従うようにプログラムされたロボットが出てきます。初めに、特定の行動をし、振舞うようにプログラムされたロボットが登場します。この前もって設定された服従がゆえ

に、ロボットはその奴隷となっています。怒り、また恵みや哀れみに欠けた冷たい存在です。
そして大抵は偶然や奇跡など、何かのきっかけでリセットが起こり、ロボットは自由を得、変わり始めます。雷に打たれたとか、激しい衝撃を受けたとか、OFFにされていたスイッチが入ったとかです。
ロボットは自由になり、ルールに従わなくてよくなります。さて、観客は初めに何を見てロボットが自由になったことに気が付くでしょう。想像してみてください。ロボットに命が宿るのです。
ロボットがコンピュータープログラムの影響下になくなったと、どうしてわかるでしょう。
自由の最初のしるしは、喜びという形で現れます。ロボットが微笑みます。心から楽しみ、本当に幸せそうになります。ロボットは微笑まないし、喜びを表現しないはずだと私たちは知っているからです。この変化は、ロボットの中身が変わったからこそです。
ロボットが人間のように喜びを表しているのを見て、自由になったのだと即判断できるというのは驚くべきことです。もちろん微笑んだり、笑ったりするようにプログラムされたロボットもあります。でもそれは火を見るより明らかです。偽物の喜びは心のテストには受かりません。「自由」は神様から来る喜びと真の幸せの始まりです。

見栄張り

パウロはさらに12節へと続けます。
「見栄を張る」という行為は目に見える形でされます。この節では、真に信仰深いことを証明するための行動でした。でもパウロは、何かを見せることではイエス様における信仰を証明することはできないと知っていました。
コリントの信徒への手紙13:5は「あなたがたは、信仰の内にあるかどうか、自分を試し、自分を吟味しなさい。」と言っています。それは、イエス様があなたの内におられるかを吟味しなさい、ということです。
神様には、何の証明もする必要はありません。神様はすでにご存じです！神様に何を証明する必要があるでしょう。神様は、あなたの心をすでにご存じなのです。
聖書は問いかけます。
あなたには信仰がありますか。
「あなたは自分の持っている信仰を、神の前で持ち続けなさい。自ら良いと認めたことについて、自分を責めない人は幸いです。」(ローマの信徒への手紙14:22)
問題は、人が人を恐れることです。
人間は、本当にクリスチャンかどうかを他の人に疑われるのを恐れるがゆえに、自分がクリスチャンであると肉の業によって他の人に証明しようとします。これは恐れの態度です。
なぜですか。信仰はあなたと神様の間のものです。人ではなく、神を恐れましょう！
審判の日にあなたを裁くのは誰ですか。隣に座っている人ですか。あなたを批判している人ですか。「対抗心に満ちた態度」のその人たちのことを心配する必要はありません。あなたを批判する時、彼らは彼ら自身と競争しているのです。
マタイ7:2「あなたがたは、自分の裁く裁きで裁かれ、自分の量る秤で量られる。」
抵抗せず、へりくだって、彼らに勝たせてあげなさい。信仰というレースは他の人と競争するものではありません。自分と自分の競争です。それは、自分がどう行動するかの決断における主に目を向けた自己訓練です。

結果について学べる事

パウロは13節で、これは全て、他に誇りたいという「対抗心に満ちた態度」にかられた物理的な結果と統計に過ぎないと言っています。それが、パウロが討論している人たちが求めている物でした。何人改宗させたかを目に見える形で見せ、他に威張りたいのです。これは競争という危険なゲームです。自分が特別であると証明するために、数を求めて行動するなら、必ず毎回誰かに負かされます。神様があなたの内に働かれているのでなければ。神があなたの内におられるなら、素晴らしい成長が見られるでしょう。

実例

使徒たちがイエス様と船に乗っていた時、イエス様は魚が全く見えないのに使徒たちに網を張るように言いました。(ヨハネ21章)
これは何を証明したでしょうか。これはイエス様が死から甦り、預言の通りご自身が神であることを証明しました。使徒たちはイエス様が共におられると、自分たちだけでできること以上のことを成し遂げられたからです。
これこそが目標です。これこそが私たちが何かを「行う」意味です。あなたの内におられるキリストを見せることです。あなたをではなく。
確かに、福音を広め魂を勝ち取るために世に出ていくという行為は、信仰の現れです。でも人は何を見て、キリストが私たちの内におられることを知るでしょうか。路傍伝道したという事実でしょうか。それともあなたが想像を超えるほど多くの人を救いに導いたという結果でしょうか。
まず出ていかないことには、たくさんの魚が釣れるとはわかりません。魚が見えるかどうかは関係ないのです。神様があなたを召されていることを、ただするのです。それはあなたと神様の間の問題です。結果は神様次第です。
14節でパウロは言っています。私たちが自らの成果を誇るとき、私たちはキリストの力を奪ってしまいます。
「キリストが私を遣わされたのは、洗礼(バプテスマ)を授けるためではなく、福音を告げ知らせるためであり、しかも、キリストの十字架が空しくならないように、言葉の知恵を用いずに告げ知らせるためだからです。」(コリントの信徒への手紙1:17)
洗礼者の数を誇るのは、キリストの十字架の力を奪うことだとパウロは分かっていました。だからパウロは洗礼を授けることは避け、神様が彼に与えられた仕事に専念したのです。

呼ばれたもの

クリスチャンが初めてクリスチャンと呼ばれたのはアンティオキアでした。なぜクリスチャンという名前で呼ばれたのでしょうか。彼らが自分たちでそう名乗ったのではありません。まだこの呼び名は存在していませんでした。彼らがクリスチャンと呼ばれ始めたのは、彼らがキリストの体として、キリストのように振舞っているのを人々が見たからです。信徒はすでに広がり始め、力を得、成長していました。迫害にも関わらず、その数を増し、愛をもって互いに奉仕し合っていました。
彼らが新しい掟(ヨハネ13:34、ヨハネ15:12)を実行していたのは明らかです。イエス様は「私があなた方を愛したように、互いに愛し合いなさい。それによってあなたがたが私の弟子であることを、皆が知るであろう。」と言われました。信徒たちがアンティオキアで自らをクリスチャンと名乗ったのではありません。信徒たちは、その「態度」によってクリスチャンとみなされたのです。
TBCには聖書カウンセリングがあるのをご存じですか？この聖書に基づくカウンセリングは、互いに愛することが簡単ではないからこそ存在します。互いに愛し合うのはいつも簡単にできることではありません。聖書カウンセリングは、試練の中にある信徒たちが、神様の愛を信じ、互いに愛し合えるように導く、熱のこもった弟子訓練のようなものです。
この11月、TBCでは聖書カウンセリング・カンファレンスを開催します。聖書カウンセリング関係者の中でも有数の学者や著者がやってきます。彼らは牧師や現役のカウンセラーでもあります。APBCカンファレンスは11月第一週です。祝日3日の前日2日夜から、土曜日4日までです。TBCメンバーのために、TBCがスポンサーとなっています。この機会を逃さないでください。すでに約130人が関わっています。礼拝、ランチ、夕食を兼ねたフェローシップ、そしてもちろん聖書カウンセリングについて学ぶセッションがあります。聖書カウンセリングがあるのは、人生の様々な状況に適切に対応すること、特に人を愛そうとするのは必ずしも簡単ではないからです。試練は私たちの態度に悪影響を与えかねません。
さてパウロは自身の態度について、あることを明らかにし始めます。

「しかし、この私には、私たちの主イエス・キリストの十字架のほかに、誇るものが決してあってはなりません。この方を通して、世界は私に対し、また私も世界に対して十字架につけられたのです。」（ガラテヤ 6:14）

誰かにとって重要なこと、誰かが必要としていること、つまりその人を支配しているあるものを取り上げたり、逆に与えたりすることで、その人を支配できます。

この世が提供するもののうち、あなたが必要としているものは何ですか。

パウロの興味は、世が彼に何を与えられるかにはありません。自分が世に何を提供できるかでさえもありません。パウロの興味はあくまでも、キリストが彼に与えられるもの、キリストが世に与えられるもののみにあります。

パウロは十字架につけられ、また今もつけられています。世の魅力はどんどん小さくなり、彼にとっては死んだも同然になっていっています。これはパウロの霊的成長の一部です。だからと言って、パウロが何もいらないというわけではありません。パウロはお金や食べ物、医療、友情、仕事はもちろん、人生の全ての側面についても述べています。

しかしパウロは、与えられたものも、奪われたものも、彼に影響を及ぼすことはできないと知っているのです。決して。

フィリピの信徒への手紙 4:11-13

「11物欲しさにこう言うのではありません。私は、自分の置かれた境遇に満足することを学びました。12貧しく暮らすすべも、豊かに暮らすすべも知っています。満腹することにも、飢えることにも、有り余ることにも、乏しいことにも、ありとあらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。13私を強めてくださる方のお陰で、私にはすべてが可能です。」

パウロはなぜこんなに自信があるのでしょう。なぜこんなに満足しているのでしょう。なぜこんなに幸せなのでしょう。

あなたもこの自信が欲しくありませんか？

パウロは大海に浮かぶ船のようです。失ったもの、得たもの、盗まれたもの、困難、飢え、人生のありとあらゆる嵐にみまわれても、なにものもパウロに影響を及ぼすことはできません。パウロは、決して揺らがない碇をおろしているからです。

なぜパウロはこのような態度でいられるのか？

過去を振り返れば、イエス・キリストの力なしには、自分が今の自分になっていることはありえないことを、パウロは自分で分かっています。熱意をもってイエス・キリストを迫害していた男は、今は自らの命をキリストに捧げています。イエス様に会わなければ、逮捕されなかったことも分かっています。

ヨハネ10章でイエス様は、あなたがイエス様を信じられないでいるなら、イエス様があなたの神であると信じられないなら、イエス様があなたの人生でなされた奇跡を思い返しなさい、と言っています。

あなたがイエス様を知っているなら、自分に問いかけてください。イエス様があなたの内に奇跡を起こしたのでなかったら、あなたが今日、今この瞬間、この教会にいることがありえますか。イエス様がいなかったら、たった今、あなたはどこにいたでしょう。何をしていたでしょう。この証人はいますか。

質問です。救い主イエス・キリストに会うという経験をしたことがありますか。

経験があるかたには、その確信があるはずです。否定できることではありません。

イエス様に会ったことがあるなら、イエス様を知るようになるだけではなく、父なる神がイエス様の内におられ、またイエス様が父なる神の内におられることを知るだろうとイエス様は言っています。イエス様を知ることは神様を知ることです。そしてイエス様はあなたをご存じです。神の御霊があなたの内に住み、あなたの内で、あなたとは違うやり方であなたの心に働いているからです。イエス様を知ると、イエス様はあなたを罪の力から解放してくださいます。罪はもうあなたに触れることはできません。イエス様はあなたの内におられます。あなたは死にません！神の子があなたを解放したのなら、あなたは本当に自由なのです。そしてあなたはそれを実感するでしょう。神様がおられると、自分の力だけではとてもできなかったことが達成できるようになります。

私はそれによって、自分が救われていると分かります。私は新たに創造され、もう罪による死の呪いの支配下にはないと知っています。神様の力なしにはできないことができています。

でも、もう罪は問題でないなら、死のとげがなくなったのなら、何が問題として残っているのでしょうか？

それは「態度」です。

パウロの態度

パウロは神における平安を行動で示しており、またパウロの態度は彼自身の筆跡から見て取れます。

「終わりに、誰も私を煩わさないでほしい。私は、この身に、イエスの焼き印を帯びているのです。」（ガラテヤ 6:17）

この節を掘り下げてみましょう。パウロは自分のことをヘブライ人の中のヘブライ人、律法に関してはファリサイ派であると言っています。パウロの全目的は、律法を用いて、人々が神の子と呼ばれるにはふさわしくないと信じさせることにありました。言い換えるなら、パウロはボスになろうとしていたのです。しかしパウロはダマスカスへの道中、イエス様に出会いました。そしてパウロの心は新しく創造され、自由にされたのです！

そしてパウロは神様の御意志を理解し、自分の態度を、「自分がボスだ」という罪の態度から「自分は人に仕える者だ」という人を愛する態度に変えければならないと気が付きました。

そしてパウロは成功しました。なぜでしょう。

パウロは一番になる方法を実行しました。誰よりもへりくだって、最も低い層の人々に仕えたのです。それこそが成功へのカギです。イエス様がマタイ 20 章で教えています。パウロは異邦人への使徒になりました。パウロが新たに創造された心をもって、信仰においてその決断をしたとき、パウロは喜びに満ち、ローマ 14:22 に記されているように自信にあふれていました。彼を止めるものはありませんでした。

試練に直面し、信仰が試されても、パウロはそれを純粋な喜びと数えました。

「試練は私たちを証明し、向上させるためにやってくる」（アウグスティヌス）

ですからパウロは 17 節で、「誰も私を煩わさないでほしい。私は肉体に信仰における試練によって受けた傷を負っている。イエス様が私の内におられるから。」と言っているのです。

パウロはこの世を愛していました。キリストがこの世を愛したように。誰かを愛するとき、あなたはキリストの霊の内に歩んでおり、誰からも裁かれる心配をする必要がありません。そうすれば、神様の裁きにおびえ、人間を恐れず、人と比べ競争しようとせず、結果を心配せず、人を裁かず、黙々と神様のためにすると決めたことを達成していくという、パウロの態度を身に着けることができます。

これがその方法です。

心を新たにされて、生まれ変わる。キリストにおける自由とあなたの内にいる聖霊の力に注目する。そうすれば、あなたの人生に神様がもっておられる御意志が見えてくる。

神様を愛し、神の民を愛する方法として、神様があなたに用意されている御意志がわかったら、恐れながら生きる必要はもうありません。目に見えるもの、見えないものによってではなく、信仰によって生きるのです。

あなたが罪の態度を捨て、新しい態度を身に着けたいなら、心の刷新によって生まれ変わりたいなら、それは可能なのです。神様はあなたを救い、変えるために、そのひとり子イエスを送られたと聖書は言っています。

イエス様は死に、そして3日後には、私たちをこの世の虜とする罪、そして死をも覆す力を見せ、死から甦りました。イエス様にあれば、神を、死を、人を恐れる必要はありません。イエス様に従い、自由になりましょう。　祈りましょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。

聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会

Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg3923jp

★クラス 201
クリスチャンとして成長するために
9 月 30 日（土）13:30～17:30
参加条件: クラス 101 を修了し教会員になった方

★クラス 301
あなたの賜物を発見しよう！
10 月 14 日（土）13:30～17:30
参加条件: クラス 101・201 を修了した教会員
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1. 日本語字幕オペレーター

月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーを押してめくる作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2. 日本語訳字幕作成

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3. 週末礼拝メッセージ翻訳

1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方